

第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	(a)・b・c
<p><コメント>理念・基本方針がパンフレット、事業計画、保育マニュアル等の文書に記載されており、アンケート調査では、保護者の約9割が園から説明があったと回答している。職員への周知は職員会、リーダー会を通じて確認しているが、理念・基本方針ともに文章表現を分かりやすく変更し、保護者・職員への周知を徹底していく予定である。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	(a)・b・c
<p><コメント>園長が西条市の子育て会議、すこやか親子会議に参加し、地域の子育て関連団体などのネットワークを生かして、社会福祉事業全体と地域の各種福祉計画の動向などの把握に努めている。地域の子どもの数、保育ニーズなどもデータを把握しており、今後の経営課題として対策を検討している。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・(b)・c
<p><コメント>近年の課題は、職員の新規採用ができていないことであり、保育士の不足が続いていたが、理事会や職員への働きかけに加え、様々なネットワークを通じての募集活動により本年3名の新規採用を達成できた。引き続き経営課題を分析し、組織的な課題解決の取り組みが期待される。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・(b)・c
<p><コメント>今年度初めて中・長期計画を策定した。3～5年の経営課題と取り組みの方針が明文化されているが、事業面の計画のみで収支計画は未作成となっている。具体的な数値目標が設定されている項目が少ないため、今後は実施状況の評価ができる中・長期計画策定が望まれる。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・(b)・c
<p><コメント>単年度事業計画も本年度、内容・項目を大幅に見直して策定したが、中・長期計画を反映した内容が少ない、具体的な数値目標の設定が少ないなどの点について、今後の改善が望まれる。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a (b) c
<p><コメント>職員会・リーダー会で出された職員の意見を反映させているが、多くの職員が参画しての策定には至っていない。また見直しの時期や手順も具体的に定められておらず、今後の課題となっている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a (b) c
<p><コメント>保護者アンケートでは事業計画について、分かりやすく説明があったという回答は約9割であった。従来の事業計画は行事予定などが中心であったが、新しい事業計画は内容も多岐にわたっており、保護者に分かりやすく説明するための工夫が必要と思われる。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a (b) c
<p><コメント>リーダー会が計画とチェックを行い、職員会で計画の説明と改善策の検討などが行われている。PDCA サイクルの仕組みはあるが、質の向上に向けた取り組みは管理職が中心となっている。今後さらに多くの職員の参画により組織的に取り組むことが望まれる。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果に基づき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	(a) b c
<p><コメント>月2回の職員会の場で、課題に対する改善策を検討するとともに、実施状況について話し合っている。</p>		

評価対象II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
II-1-(1)管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a (b) c
<p><コメント>園長は日ごろの会議や職員とのコミュニケーションを通じて、自らの役割・責任を職員に理解されるよう努めており、職員の平均勤務年数も長いため、理解が不十分と感じる場面は少ないと感じている。運営規定でも職務分掌は明確に記載されておらず、他に文書化されたマニュアルは確認できなかった。各責任者の不在時の権限等も考慮し、新規採用職員にも分かりやすく説明できる文書を用意することが望まれる。</p>		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a (b) c
<p><コメント>園長は、法令遵守に関する勉強会にも積極的に参加しているが、遵守すべき法令をリスト化する、最新の内容が把握できているか確認する、などの取り組みは今後の課題である。</p>		
II-1-(2)管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	(a) b c

<p><コメント>リーダー会、職員会が保育の質の向上を検討する場であり、園長は両方の会に参加し、リーダーシップを発揮している。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p><コメント>園長は、グループ担当制やフリー保育士の配置など、働きやすい環境づくりに取り組んでおり、財務の研修会にも参加しているが、人事・労務を含めた経営の改善や業務の効率化のための分析は今後の課題となっている。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a (b) c
<p><コメント>今年度3名の新規採用を実現できたが、慢性的に保育士不足が続いていたこともあり、人員体制についての文書化された計画は策定していない。今後は目指す保育を実現するための専門職を含めた人員体制の計画の策定が望まれる。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a (b) c
<p><コメント>保育課程に目指す職員像について記載しているが、昇進・昇格等の人事基準、基準に基づいた成果や貢献度の評価、職員の意向・意見を分析した改善策などは、今後の取り組みとなっている。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	(a) b c
<p><コメント>職員自身の子育てを優先し、職員間でカバーしあうことを伝統的に大切にしており、職員は実際にその様子を目にしているため、気兼ねなく休みを取れる雰囲気がある。職員定着率も高く、保護者アンケートでも職員の入れ替わりがないので安心して預けられると高い評価を得ている。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a b (c)
<p><コメント>保育課程に掲げた職員像に向けて、毎年度の年初に1年間の目標を立てて取り組むように伝えているが、記録に残していない。適正な目標設定になっているかの確認、達成度の評価など組織的な仕組みは、今後の課題である。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a (b) c
<p><コメント>研修に関する基本方針や職員に求める専門技術について事業計画に記載がない。また内部研修は実施の都度、計画を見直しており、手順や方法が確立していない。保育所の期待する職員像に向けて、研修に関する基本計画の策定が望まれる。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	(a) b c
<p><コメント>外部研修については、職員会で情報提供し、積極的に参加を勧奨している。</p>		

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ b・c
<p><コメント>養成学校の要望を取り入れたプログラムを作成し、実習期間中も養成学校の教師と話し合っ て継続的な連携を図っている。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a Ⓑ c
<p><コメント>パンフレットで保育所の理念・基本方針を公開しているが、事業計画・事業報告・予算決算は公 開していない。また苦情・相談の体制や内容、改善の状況については、園だよりで保護者に伝えている が、公開はしていない。今後ホームページを作成する計画があるので、積極的な情報公開が期待され る。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行わ れている。	a Ⓑ c
<p><コメント>経理規程を定め、事務部門の職員が運用管理している。公認会計士の指導・助言により、経営 課題の改善を行っている。今後は内部監査等で事務・経理・取引について、定期的に確認することが期 待される。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	Ⓐ b・c
<p><コメント>スポーツ教室、キャンプごっこ、お茶会、トマト狩り、いちご狩りなど地域の方々と交流できるイベ ントを毎年実施しており、保護者アンケートでも「子どもが楽しみにしている」と好評を得ている。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を 確立している。	a Ⓑ c
<p><コメント>中学生の職場訪問を受け入れ、案内文書を作成し、訪問が有意義なものになるよう工夫してい る。今後は、一般のボランティア受入れにも取り組むことが期待される。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連 携が適切に行われている。	Ⓐ b・c
<p><コメント>社会資源(療育関係機関)のリストを作成し、保護者にも案内している。子育て会議、すこやか 親子推進連絡会、子育て連絡会、虐待防止ネットワークなどと定期的に連絡をとるとともに、園長がこれら の役職を積極的に引き受け、円滑に社会資源を活用できるよう取り組んでいる。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a Ⓑ c
<p><コメント>保育所のスペースを使い、土曜日に児童クラブと交流している。地域の子育てに役立つ講演会 などの案内はしているが、今後保育所独自の講演会を実施する予定である。また防災拠点として保育所 施設の活用を関連団体と協議することも、今後の取り組みとして計画されている。</p>		

27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント>子育て支援センターを運営している。保護者会と連携して、地域の独居老人宅に子どもたちが作ったプレゼントを配るなど地域に役立つ活動をしている。卒園した子どもの保護者からの相談や、保護者のネットワークにより、保育所の利用経験のない保護者からの相談にも積極的に対応している。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント>理念・基本方針に子どもを尊重した保育の実践を明記し、職員会などで繰り返し職員に確認するとともに、倫理綱領を職員に配布し、内部研修で周知を図っている。保護者アンケートのコメントにも「子どもが主役の保育園」「子どもの自主性を尊重してくれる」など子どもの尊重を評価するコメントが多数寄せられた。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント>子どものプライバシー保護に関するマニュアル、ならびに虐待対応マニュアルを策定し、職員会等で研修を行っている。3歳以上児のプールの着替えや、おむつ替えの場所等についても、子どものプライバシーに配慮した支援を行っている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所 選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・Ⓑ・c
<p><コメント>カラーの図や写真を使って、分かりやすく作成したパンフレットを公民館や支所、文化会館など設置している。見学希望者には、特別な事情がない限り、いつでも受け入れている。広く情報を提供するには、ホームページが必要と考えており、現在検討を進めている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント>新規入園者の仮り入園時を含め、毎年、入園のしおりを配布している。入園のしおりは、図や表を使って、保護者が理解しやすいように工夫している。保護者アンケートの「入園の際に、保育の内容や方法について説明がありましたか」という項目については「はい」の回答率が98%であった。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント>保育所の支援が終了した場合にも、子育て支援センターのパンフレットを渡すなどして、支援が途切れないよう配慮している。また卒園後も相談に来る保護者にも対応している。保育所の変更にあたっての引継ぎ文書などは、これまで作成していないが、今後必要に応じて対応する予定である。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c

<p><コメント>定期的にクラス懇談会、個別懇談会を実施している。個別の相談は随時、受け付けている。また職員が年間5回開催されている保護者会に参加し、意見や要望を聴いている。保護者アンケートの「日常的な情報交換に加えて、別の機会を設けて相談に応じたり、個別面談などを行っていますか。」という項目について「はい」の回答率は98%であった。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント>苦情申出窓口について入園のしおりに記載し、配布するとともに、送迎時の保護者通用門にも分かりやすく掲示している。また、苦情内容と解決策については、園だよりで保護者に知らせるとともに、保護者会で説明している。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント>入園のしおりに意見や相談の窓口を明記している。相談はプライバシーに配慮し、相談室を使用している。今後さらに保護者が意見などを表明しやすいように、「苦情・意見・要望カード」を配布する予定である。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント>送迎時の保護者や子どもの様子で気になることがある場合には、担当であるなしに関わらず職員から声掛けし、送迎バスを利用している保護者に対しては連絡帳を使って相談を促している。職員会の議事録に保護者から出された要望を記載し、改善の状況を確認している。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている	a Ⓑ・c
<p><コメント>緊急対応時マニュアルを作成するとともに、ヒヤリハット報告を取りまとめ、職員会で改善策を話し合っている。毎年1回救命講習を受講しており、本年は全職員が受講した。さらに安全対策の実施状況や実効性について定期的に評価・見直すことが期待される。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント>感染症マニュアル・衛生管理マニュアルを策定し、ノロウイルスなどの注意報が発令された場合に、その時点で職員に再確認している。感染症発生時には、赤い用紙で保護者に状況説明するとともに、注意喚起している。アンケート項目「感染症発生時に状況について連絡がありますか」に対する「はい」の回答率は98%であった。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a Ⓑ・c
<p><コメント>消防計画・防災マニュアルを作成しており、水・食糧の備蓄をしているが、事業継続計画の検討は今後の取り組みである。緊急連絡網を策定しているが、ホームページを利用した一斉連絡等の災害時対応を検討中である。</p>		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	Ⓐ・b・c

<p><コメント>保育のマニュアル・手順書を策定し、内部研修により職員に周知している。マニュアルは着替えの方法など子どものプライバシーについて配慮した内容になっている。</p>		
41	<p>Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	a・ b ・c
<p><コメント>職員会で話し合い、マニュアルを見直すべき点があればその都度、変更している。定期的な見直しのための方法などは決められておらず、今後の課題である。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントに基づく指導計画を適切に策定している。</p>	a ・b・c
<p><コメント>児童票に子どもと家庭環境に関する情報を集約し、指導計画作成に反映させている。個別支援計画作成には医療機関関係者も参加している。</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。</p>	a ・b・c
<p><コメント>リーダー会・職員会で年3回評価・振り返りをおこない、指導計画に基づいた保育が実践できているか確認している。環境の変化や保護者からの要望があれば、直ちにリーダー会・職員会で話し合い変更を検討している。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	a ・b・c
<p><コメント>保育実施状況は指導計画書に、子どもの発達状況は児童票に記録している。書面での連絡事項は回覧し、各職員がチェックを入れて確実に伝わるようにしている。また日々の引継ぎ事項はランチルームのホワイトボードに掲示し、確実に情報伝達するよう取り組んでいる。</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p>	a ・b・c
<p><コメント>個人情報保護方針に基本方針と取り扱いの規程を定め、運営管理規定に記録の保管年数が定められている。さらに、万一の漏えい時の対策・対応方法と、保管記録の廃棄についても規程を整備することが望まれる。</p>		